

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和6年 2月 2日

事業所名：児童発達支援わかば

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	確保できている。活動中は布を被せたり、使わない物は片付け、活動に集中して取り組めるよう環境を整えている。	20名中、1名は未回答、19名は「はい」と回答	継続しておこなう。
	2 職員の適切な配置	利用者数に合わせて、配置している。	20名中、1名は未回答、16名は「はい」と回答、3名は「わからない」と回答	継続しておこなう。保護者の方々に周知していただけるよう解決策を検討し、実施していく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	ホワイトボードに一日の流れを視覚化し、子どもの特性に応じて絵カードやイラストを用いて声掛けをおこなっている。	20名中、1名は未回答、19名は「はい」と回答	継続しておこなう。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃し、玩具の消毒をおこなっている。支援員だけでなく、子ども達とともに季節にあった制作を壁面に飾っている。	20名中、1名は未回答、18名は「はい」と回答、1名は「わからない」	送迎時や参観など、施設に来所していただいた際に施設内をみていただくなど、安心して利用していただけるよう努める。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	朝のミーティング、業務終了後、職員会議など支援員同士、情報を共有しあい、話し合っている。		継続しておこなう。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	未実施。		継続しておこなう。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	年間計画に沿って実施している。		定期的に研修を実施していく。研修内容を活かし、療育をおこなっていく。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	初回は契約時におこない、それ以降は半年に一回のペースで保護者と面談をおこないアセスメント、モニタリング、計画の作成をおこなっている。		継続しておこなう。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	支援員と家族が情報を共有し合い、ミーティングや会議で子ども一人一人に応じて計画書を作成している。		継続しておこなう。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
提供	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	作成した支援計画書は保護者と管理者が書面を見ながら確認しあい、支援方法を共有できるようにする。	20名中、1名は未回答、19名は「はい」と回答	継続しておこなう。
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援員一人一人が言葉かけや支援方法を共有・統一しておこなっている。	20名中、1名は未回答、19名は「はい」と回答	継続しておこなう。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	支援員全員が一丸となり、立案・役割分担をおこなっている。		日々のルーティンの中で子ども達が楽しめる工夫をこれからも考えていく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	朝から利用される方も、午後から利用される方も楽しんで活動に参加できるよう、日々活動内容に変化を入れている。		継続しておこなう。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	子ども達の能力に応じた活動や季節を感じられる活動を取り入れ、皆が楽しんで参加できる内容を考え実施している。		継続しておこなう。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	職員間での気づきや振り返りを業務終了後に話し合う、業務日誌に記録を残すなど、当日休みの職員も確認できるようにしている。		継続しておこなう。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	職員間での気づきや振り返りを業務終了後に話し合う、業務日誌に記録を残すよう努めている。		細かな気づきも記載していくよう努め、継続しておこなう。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	業務日誌に記録するよう日々努めている。		継続しておこなう。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的に職員会議をおこない、振り返りをおこなっている。		継続しておこなう。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	サービス担当者会議には参画できていないが、相談支援員の方や他事業所と連絡を取り合い情報の共有をおこなっている。	時間の確保と担当者会議をおこなう環境づくりに努める。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	情報共有をおこなう際は、保護者の方に相談してから おこなっている。	継続しておこなう。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	相談していただいた方には不安を解消できるよう、丁寧な対応に努めている。 障害福祉についての情報発信のコミュニティから勉強会のお知らせがあれば連絡ツールを活用し、情報提供をおこなっている。	継続しておこなう。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関との連携はまだ実現できていないが、研修の機会には積極的に参加するよう努めている。	研修内容を書面で記録・保管をおこない、支援員が情報を共有できるよう努めていく。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	交流の機会は今のところ未定。	20名中、1名は未回答、1名は空白、1名は「どちらともいえない」、2名は「いいえ」、6名は「わからない」、9名は「はい」と回答

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	積極的におこなえていない。		様々な所と交流できるよう、立案し、時間の確保と環境づくりに努めていく。	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用者負担については契約時に説明をおこなっている。支援の内容について、保護者の方々にご理解・ご協力をいただけるよう説明に努めている。	20名中、1名は未回答、19名は「はい」と回答	継続しておこなう。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	保護者の方々にご理解・ご協力をいただけるよう説明に努めている。	20名中、1名は未回答、19名は「はい」と回答	継続しておこなう。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	連絡帳や送迎時を通して保護者の方々から話を聞き取り、支援をおこなっている。	20名中、1名は未回答、1名は空白、1名は「いいえ」、3名は「わからない」、2名は「どちらともいえない」、12名は「はい」と回答	連絡帳や送迎時以外でも、家庭での気づきや困りごとを聞き取り、保護者の方々の支援に努めていく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や送迎時を通して保護者の方々に日々の様子をお伝えしている。	20名中、1名は未回答、19名は「はい」と回答	継続しておこなう。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	連絡帳や送迎時を通して保護者の方々から話を聞き取り、支援をおこなっている。	20名中、1名は未回答、1名は「わからない」、18名は「はい」と回答	継続しておこなう。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	不定期ではあるが、開催の場をつくるよう努めている。	20名中、1名は未回答、1名は空白、5名は「いいえ」、3名「わからない」、10名は「はい」と回答	保護者の方々から聞き取りをおこない、参観や茶話会などを通じて保護者同士が交流できる機会をつくっていく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があった場合には迅速に適切な対応を行う。	20名中、1名は未回答、1名は空白、4名「わからない」、1名は「どちらともいえない」、13名は「はい」と回答	継続しておこなう。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	連絡帳や送迎時を通して保護者の方々から話を聞き取り、支援をおこなっている。必要に応じて実施している支援方法をお伝えしている。	20名中、1名は未回答、19名は「はい」と回答	継続しておこなう。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月お便りを発行する。月の制作活動としてカレンダー作成し、活動内容を保護者の方々に発信している。	20名中、1名は未回答、1名は「わからない」、18名は「はい」と回答	継続しておこなう。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	鍵付きのロッカーに保管し、取り扱いに十分注意し対応している。	20名中、1名は未回答、19名は「はい」と回答	継続しておこなう。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	実施できている。	20名中、1名は未回答、2名は「わからない」、17名は「はい」と回答	継続しておこなう。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	月に1回避難訓練を実施している。毎月曜日を変えて、利用している子ども皆が参加できるようにしている。	20名中、1名は未回答、19名は「はい」と回答	継続しておこなう。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年1回虐待防止研修を実施している。		研修内容を書面で記録・保管をおこない、全ての支援員が情報を共有できるよう努めていく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現状で身体拘束を行う利用児はいないが、必要であれば保護者の同意を得る。		継続しておこなう。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーは適切な対応を行っている。		継続しておこなう。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	職員会議やミーティング時におこない、情報共有に努めている。		ヒヤリハットの作成を積極的におこない、危機管理能力の向上に努めていく。